

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

(3月中に記入)

担当者 が 入 力	事務事業名		市有林整備事業				担当課		農林水産課				担当係		林務水産係											
	長期振興計画 の位置づけ		施策		林業の振興		課長名		園田 博己				担当者名		吉原 聖保											
			基本事業		森林環境整備		事業年度		28 -				(H29) 予算事業コード		20816											
	開始のきっかけや 取り巻く状況		整備(間伐等)適齢期に達した市有林が増えてきたことによる。										(H30)		93007											
	事業概要		対象		市有林										事業主体		西之表市									
			手段		間伐予定地の現地調査を踏まえ、管内林業事業体に施業を委託する。										実施計画		○ 総合戦略 -									
			意図		市有林の健全な育成を図る。										過疎		- 辺地 -									
	年度別		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(平成30年度)															
	事業内容		間伐予定地の地形・収量比数等の現地調査により設計し、管内林業事業体に施業を委託する。				間伐予定地の地形・収量比数等の現地調査により設計し、管内林業事業体に施業を委託する。				間伐予定地の地形・収量比数等の現地調査により設計し、管内林業事業体に施業を委託する。															
	従事職員数(人)		担当課		1		関係課		0		臨時		0		担当課		1		関係課		0		臨時		0	
	財源		決算額 3,748 (千円)				決算額 6,210 (千円)				予算額 9,304 (千円)															
			13 委託料		3,748		13 委託料		6,210		13 委託料		9,304													
			特定 一般 3,748		特定 一般 6,210		特定 一般 9,304																			
	評価指標(単位)		前年度(平成28年度)				当該年度(平成29年度)				次年度(H30)				前年度 評価理由											
			中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値		中間値 (事中評価)		実績値 (事後評価)		目標値				中間値 (事中評価)		目標値							
	施業面積(ha)				5.77		5.77		7.66		7.66				10											
	森林経営計画に対する 施業進捗率(古田団地)				7.7%		7.7%		18.0%		18.0%				31.4%											
	取 組 内 容		間伐予定地の地形・収量比数等の現地調査により設計し、管内林業事業体に施業を委託する。																							
	成 果		市有林の健全な育成が計画的に図れている。																							
課 題		市有林全体面積に対しての進捗状況が低く、施業面積をまだ増やしていく必要があるが、経費も相応に発生するので難しい。																								

②-1 振り返り(Check)

課長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト										check			
	仕事の目的は 正しく認識 されているか		1		総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか？										○	
			2		市が税金を投入して行うべき仕事か？										○	
			3		正しい成果認識による成果の把握ができているか？										○	
	今後も有効に 機能し続けるか		1		成果の向上余地はあるか？(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)										○	
			2		類似の事業が他にないか？(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)										○	
			3		市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか？										○	
	効率的に 行われているか		1		成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか？										○	
			2		業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか？										○	
	公平な仕組みになっているか		1		同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか？										○	
2			受益者負担は適正に設定されているか？(非受益者から見て納得が得られるか)										○			

事務事業マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度取組へ～

②-2 振り返り(Check) ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

課 長 が 記 入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト		check	
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か？			
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか？			
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか			
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか？			
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか？			
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か？			
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか？			
		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか？			
	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか？			○
		2	委託先が固定化していないか？固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか？			○
		3	市が求める成果水準を達成しているか？			○
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか？			○
	② 【総合評価】振り返り(Check)					
	総合評価(課長)		評価結果の根拠 及び今後の課題	森林整備計画に基づく間伐の実施により、良好な市有林の保全が可能となることや森林の多面的な機能が発揮できる環境づくりに繋がることから事業継続が必要である。 また、今後、市有林の間伐材を地元産材としての利用促進を図る必要がある。		
	A					